



決算説明資料

株式会社 藤商事 2025年3月期 第2四半期(中間期)

2024年11月11日



証券コード 6257

1. 決算ハイライト	P.2
2. 決算概況	P.4
3. パチンコ・パチスロ市場の見通し	P.12
4. 2025年3月期 通期業績計画	P.17
5. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応	P.20

1. 決算ハイライト

ヒト味違う発想で、一步先の“オモシロ”さを目指して！

販売台数(累計)

パチンコ遊技機 **53,490**台

対前年同期比 +24,610台

パチスロ遊技機 **10,048**台

対前年同期比 ▲6,856台

売上高

251億14百万円

対前年同期比 +68億21百万円
(+37.3%)

経常利益

58億33百万円

対前年同期比 +32億42百万円
(+125.2%)

決算サマリー

- 当中間連結会計期間において、パチンコ遊技機を4機種、パチスロ遊技機を1機種を市場投入。パチンコ遊技機では、主カタイトルの「**Pとある科学の超電磁砲2**」(7月発売)を市場投入。パチスロ遊技機では、「**スマスロ ゲゲゲの鬼太郎 覚醒**」(7月発売)を市場投入。
- 販売台数は対前年同期比で17,754台増加。
- 売上高・経常利益については、概ね計画通りに推移。

2. 決算概況

ヒト味違う発想で、一步先の“オモシロ”さを目指して！

第2四半期(中間期) 決算概況① 発売機種(新規タイトル)

パチンコ遊技機



P FAIRY TAIL
これが七炎竜の力だ
(2024年4月導入)

©真島ヒロ/講談社
©真島ヒロ・講談社/フェアリーテイル製作委員会・テレビ東京



P 魔王学院の不適合者
(2024年5月発売)

©2019 秋/KADOKAWA/Demon King Academy
©2023 秋/KADOKAWA/Demon King Academy II



P 貞子
(2024年6月発売)

©2019「貞子」製作委員会



Pとある科学の超電磁砲2
(2024年7月発売)

©2018 鎌池和馬/冬川基/KADOKAWA/PROJECT-RAILGUN T

パチスロ遊技機



スマスロ ゲゲゲの鬼太郎 覚醒
(2024年7月発売)

©水木プロ・東映アニメーション

決算概況② 当期導入機種

第1四半期

第2四半期

第3四半期

第4四半期

パチンコ遊技機

新規タイトル (メインスペック)	FAIRY TAIL3	魔王学院の 不適合	貞子	とある科学 の超電磁砲 2	暗殺貴族
シリーズ機種 (追加スペック)	ゴブリン スレイヤー (甘)		リング7 (ライト)	リング7 (甘デジ)	
販売台数 累計 (四半期)	23,194台 (23,194台)		53,490台 (30,296台)		(通期計画) 72,000台

パチスロ遊技機

発売機種		ゲゲゲの 鬼太郎		一方通行 とある 禁書目録	
販売台数 累計 (四半期)	0台 (0台)		10,048台 (10,048台)		(通期計画) 18,000台

決算概況③ 損益計算書

(単位:百万円)

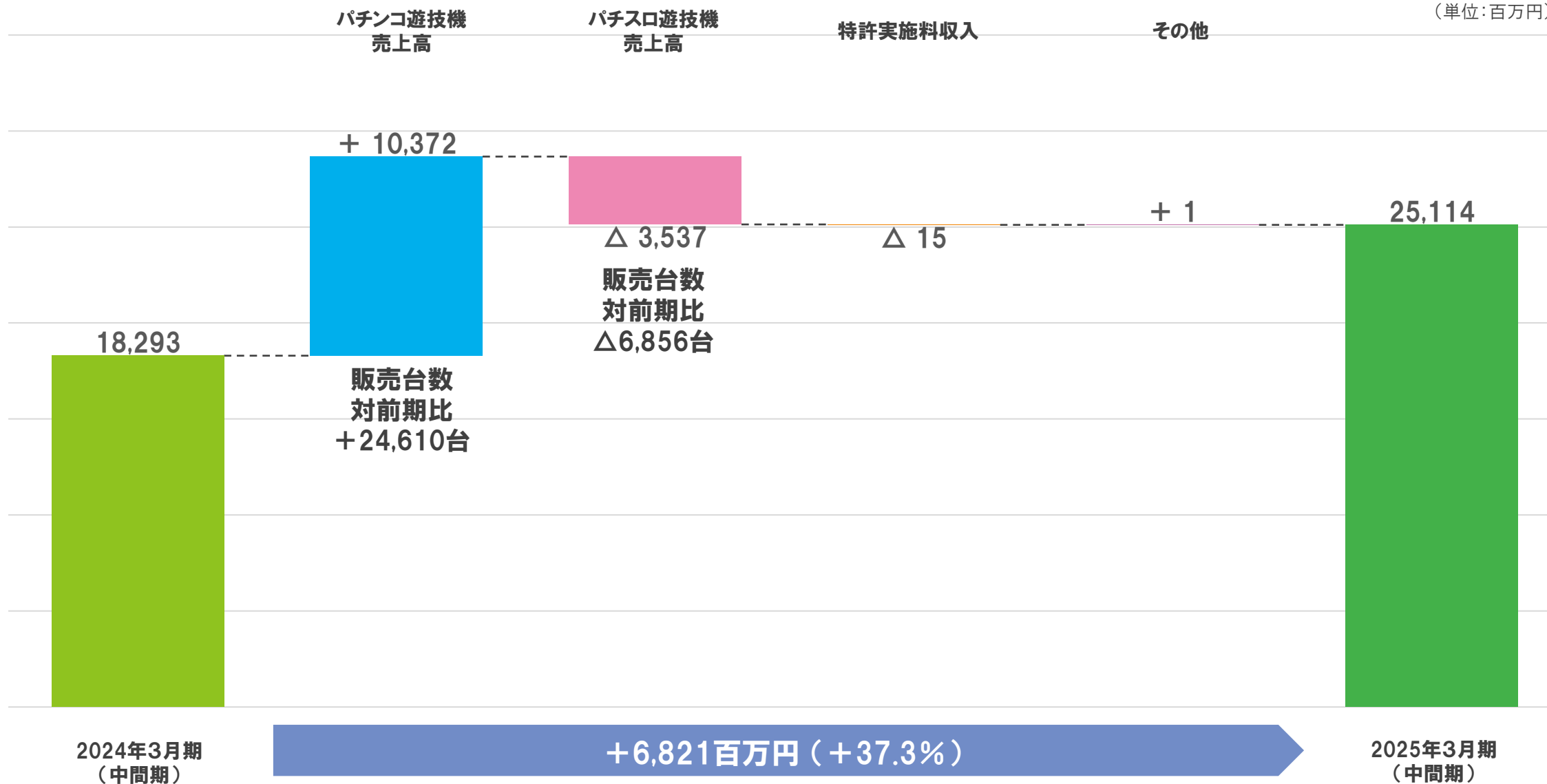
	2024年3月期 (中間期)		2025年3月期 (中間期)		対前期実績 増減		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率差	
販売台数	パチンコ	28,880台	63.1%	53,490台	84.2%	+ 24,610台	+ 21.1pt
	パチスロ	16,904台	36.9%	10,048台	15.8%	△ 6,856台	△ 21.1pt
	合計	45,784台	100.0%	63,538台	100.0%	+ 17,754台	- pt
売上高	18,293	100.0%	25,114	100.0%	+ 6,821	- pt	
売上原価	8,088	44.2%	11,777	46.9%	+ 3,688	+ 2.7pt	
売上総利益	10,204	55.8%	13,337	53.1%	+ 3,132	△ 2.7pt	
販管費	7,621	41.7%	7,611	30.3%	△ 9	△ 11.4pt	
営業利益	2,583	14.1%	5,725	22.8%	+ 3,141	+ 8.7pt	
経常利益	2,590	14.2%	5,833	23.2%	+ 3,242	+ 9.1pt	
当期純利益	2,407	13.2%	3,809	15.2%	+ 1,402	+ 2.0pt	
1株当たり当期純利益	115.24円		182.30円		+ 67.06円		

増減要因

- 販売台数**
 各商戦で堅調な販売実績を残し
 前年同期を上回る実績となる
- 売上高**
 販売台数が前年同期を上回ったため
 売上高が増加
- 売上総利益率**
 販売戦略上の理由により、
 平均売価が減少し、売上総利益率が減少

決算概況④ 売上高増減要因(前期対当期)

(単位:百万円)



決算概況⑤ 販管費の内訳

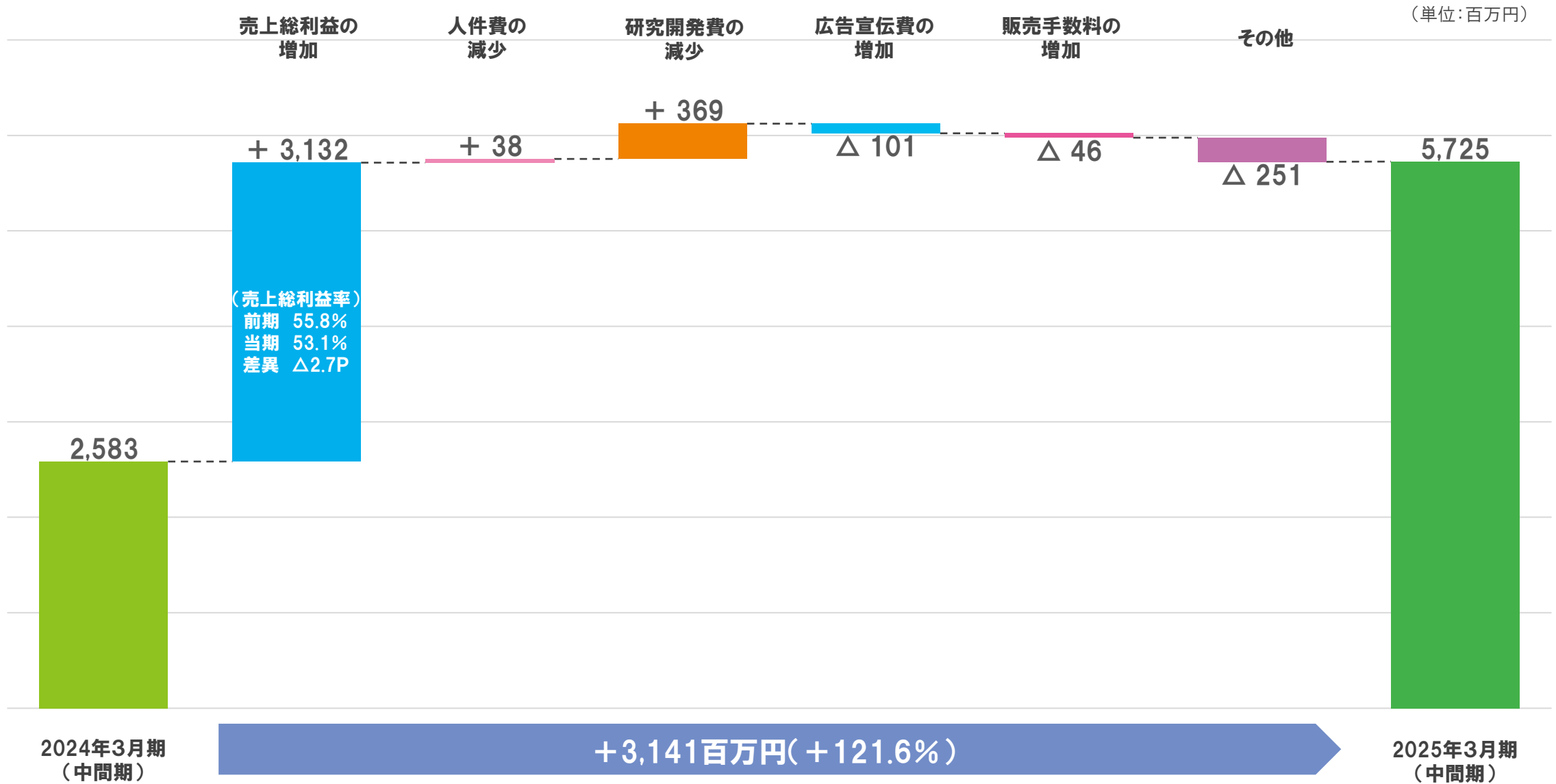
(単位:百万円)

	2024年3月期 (中間期)		2025年3月期 (中間期)		対前年同期 金額	増減 率差	2025年3月期 (通期予算)		通期予算 使用率
	金額	対売上比	金額	対売上比			金額	対売上比	
販売費及び一般管理費									
人件費	1,534	8.4%	1,495	6.0%	△ 38	△ 2.4pt	3,100	8.4%	48.3%
研究開発費	4,134	22.6%	3,764	15.0%	△ 369	△ 7.6pt	8,700	23.5%	43.3%
販売手数料	356	1.9%	402	1.6%	+ 46	△ 0.3pt	700	1.9%	57.5%
広告宣伝費	228	1.3%	330	1.3%	+ 101	+ 0.1pt	700	1.9%	47.3%
その他販管費	1,366	7.5%	1,617	6.4%	+ 251	△ 1.0pt	2,500	6.8%	64.7%
販管費 合計	7,621	41.7%	7,611	30.3%	△ 9	△ 11.4pt	15,700	42.4%	48.5%

増減要因・進捗

- **研究開発費**(対前年同期 △369百万円)
パチンコ遊技機のソフト開発費が減少。
- **広告宣伝費** (対前年同期 +101百万円)
「御坂美琴生誕祭2024」の開催により広告宣伝費が増加。
- **その他販管費**(対前年同期 +251百万円)
配送料金高騰による運賃の増加など。
- **対予算進捗率** (48.5%)
通期予算に対しては、概ね計画通りに推移。

決算概況⑥ 営業利益増減要因(前期対当期)



決算概況⑦ 貸借対照表

(単位:百万円)

	2024年3月期		2025年3月期 (中間期)		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	32,985	64.2%	39,916	65.7%	+ 6,931
現金及び預金・有価証券	20,133	39.2%	22,467	37.0%	+ 2,334
商品及び製品	16	0.0%	16	0.0%	—
売上債権	4,188	8.2%	9,203	15.2%	+ 5,014
その他	8,647	16.8%	8,229	13.6%	△ 417
固定資産	18,359	35.8%	20,803	34.3%	+ 2,444
有形固定資産	7,480	14.6%	7,464	12.3%	△ 15
その他	10,878	21.2%	13,338	22.0%	+ 2,460
資産合計	51,344	100.0%	60,720	100.0%	+ 9,376
流動負債	6,723	13.1%	10,086	16.6%	+ 3,362
仕入債務	3,896	7.6%	5,553	9.1%	+ 1,656
その他	2,826	5.5%	4,533	7.5%	+ 1,706
固定負債	1,679	3.3%	2,262	3.7%	+ 583
負債合計	8,403	16.4%	12,349	20.3%	+ 3,946
純資産合計	42,941	83.6%	48,371	79.7%	+ 5,429

参考情報

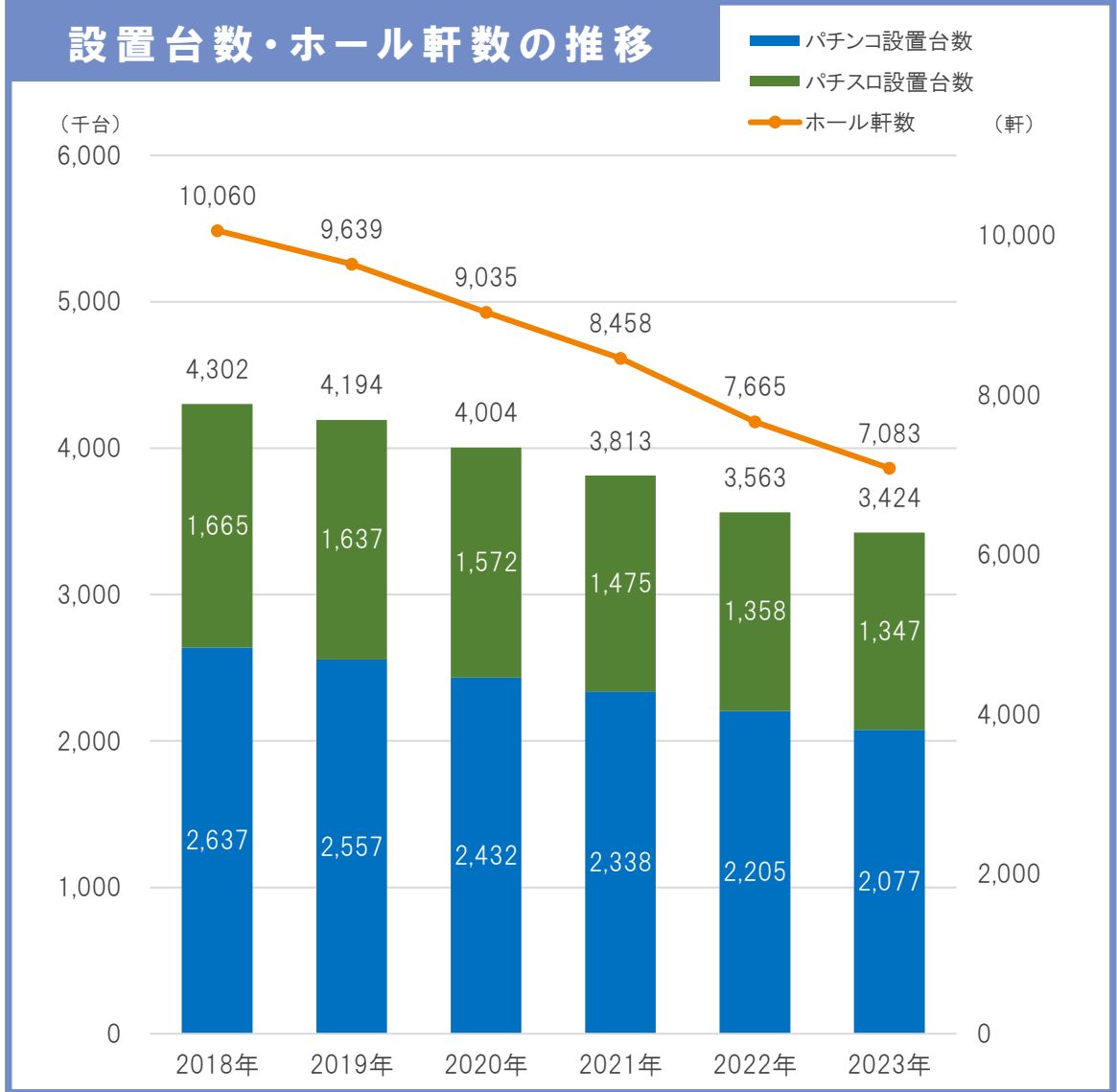
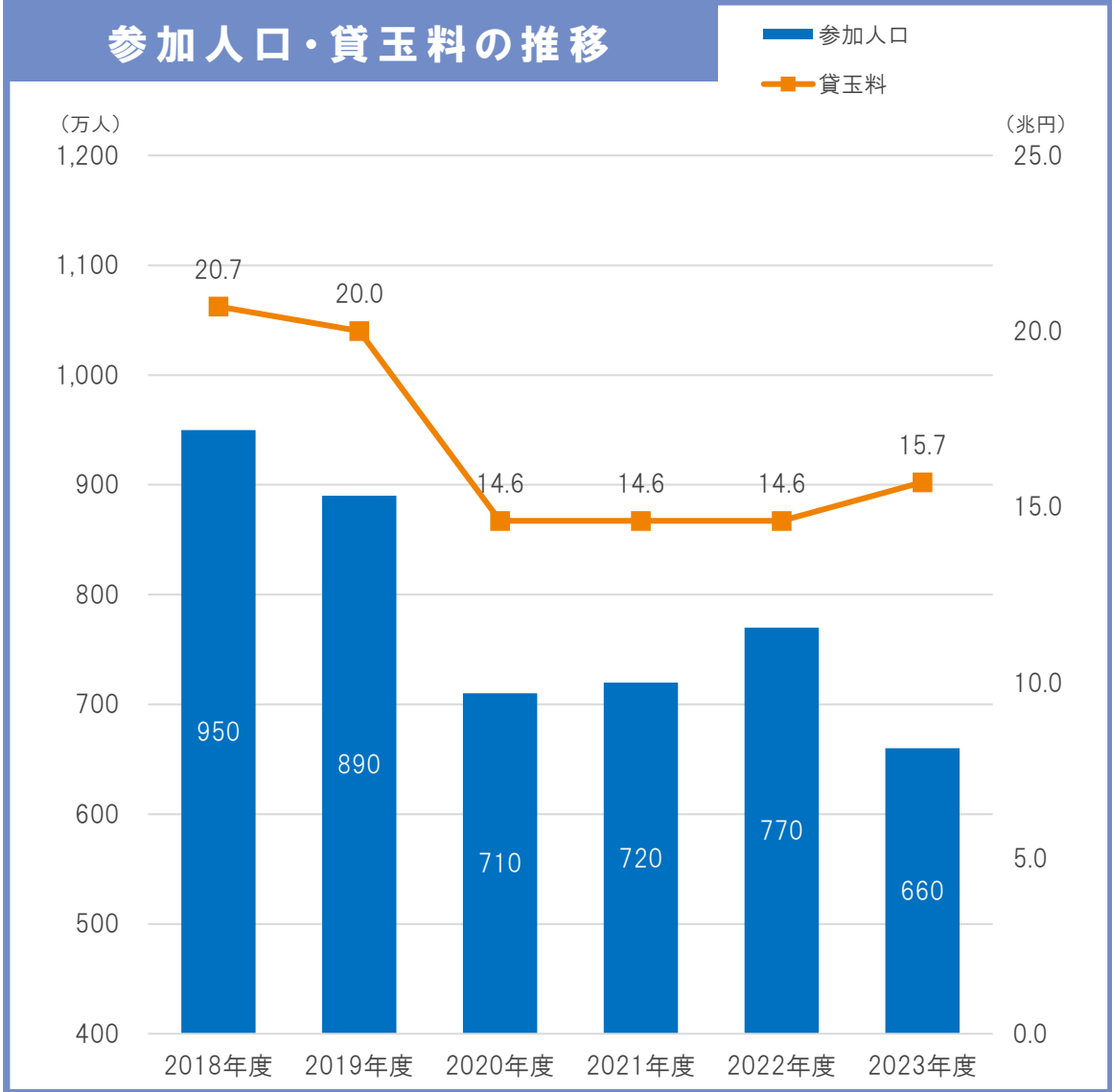
	前期末	当期末
現金及び預金	20,133	22,367
有価証券	—	100
計	20,133	22,467

	前期末	当期末
流動比率	491%	309%
当座比率	362%	313%
自己資本比率	83.6%	79.7%
ROE	8.8%	8.3%

3. パチンコ・パチスロ市場の見通し

ヒト味違う発想で、一步先の“オモシロ”さを目指して！

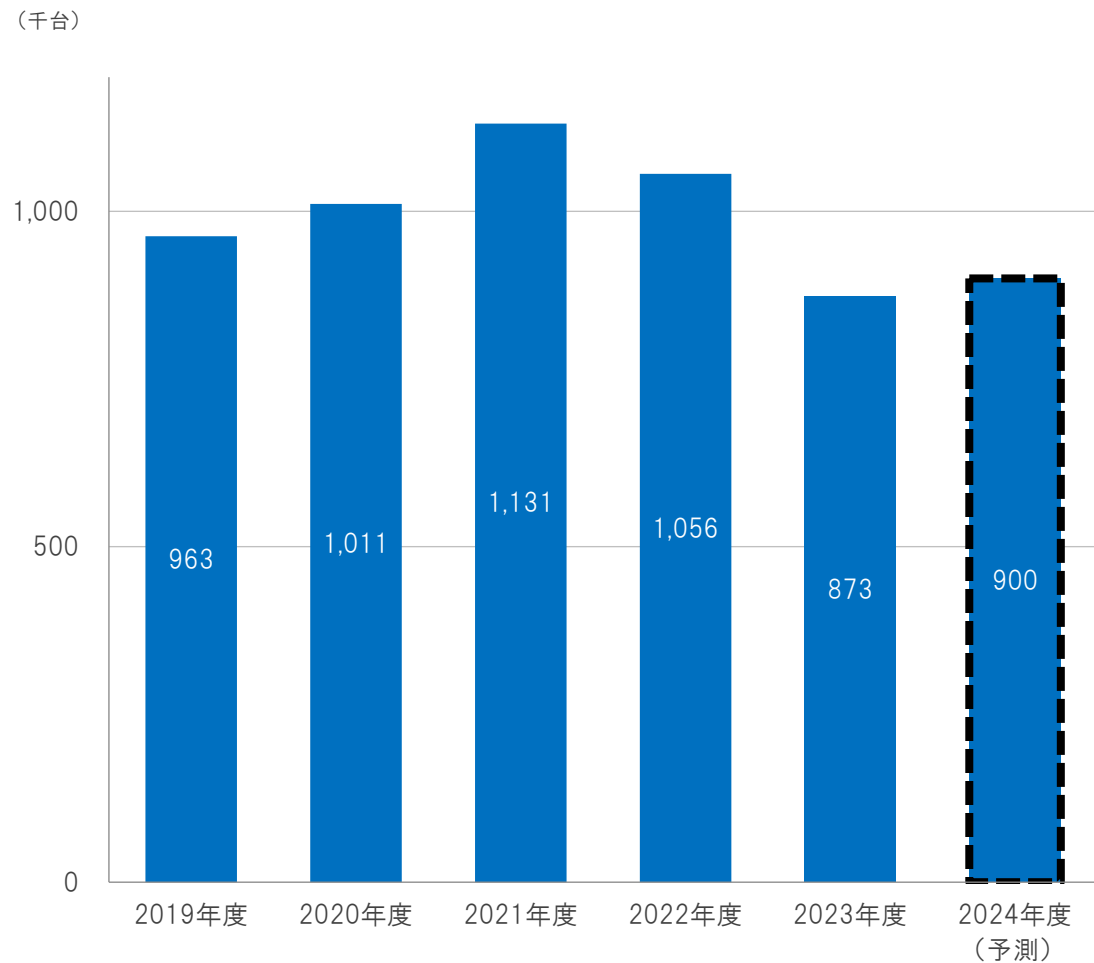
パチンコ・パチスロ市場の推移



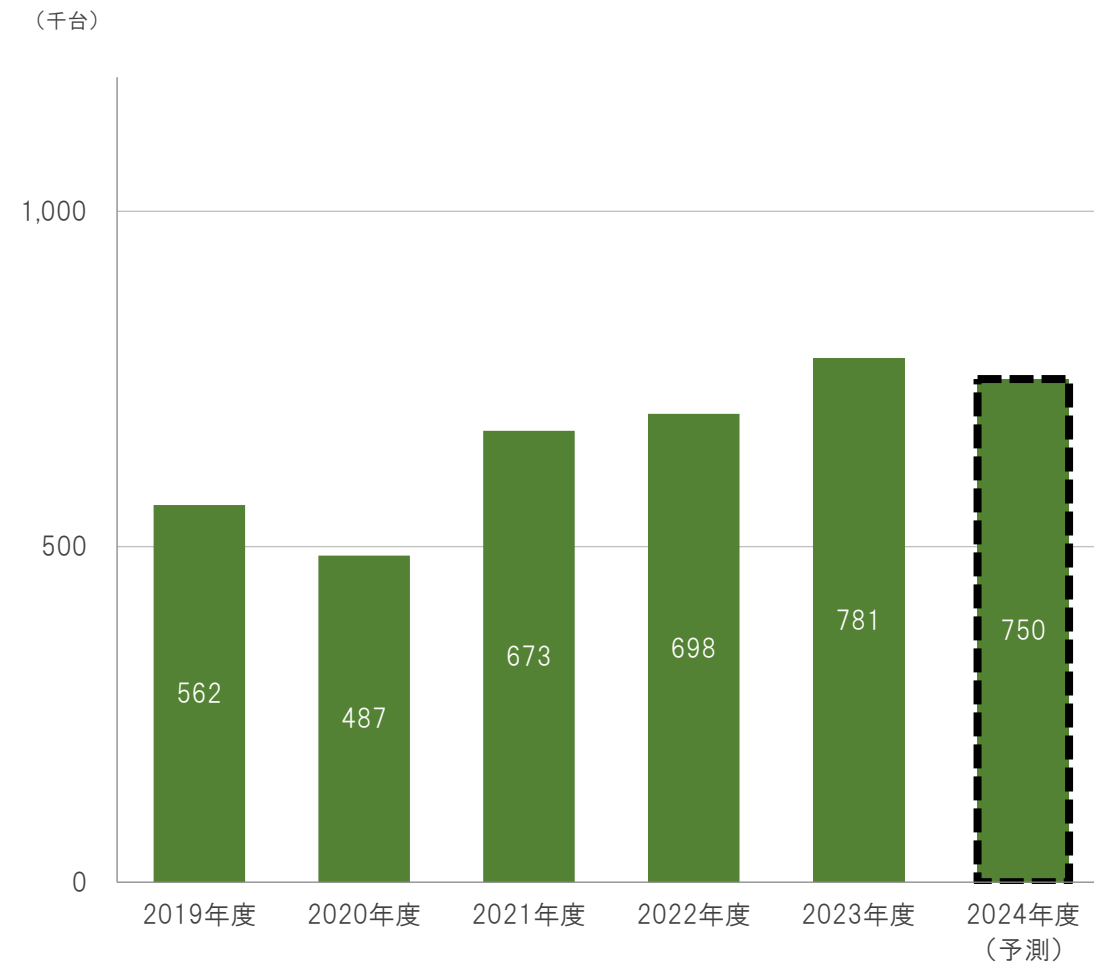
出所：日本生産性本部『レジャー白書2024』（参加人口・貸玉料）、警察庁（ホール軒数・設置台数）

遊技機市場の販売台数推移

パチンコ遊技機の市場販売台数



パチスロ遊技機の市場販売台数



データ出所: 株式会社経済研究所「2024年版 パチンコ関連メーカーの動向とマーケットシェア」より2019年度～2023年度の実績値 ※2024年度は当社予測値

4. 2025年3月期 通期業績計画

ヒト味違う発想で、一步先の“オモシロ”さを目指して！

パチスロ遊技機



(アクセラレータ)
「とある」シリーズの人気キャラクター『一方通行』をモチーフとした
藤商事×とある 待望のシリーズ第3弾！

スマスロ 一方通行 とある魔術の禁書目録
(2024年12月導入予定)

©2017 鎌池和馬 / KADOKAWA アスキー・メディアワークス / PROJECT-INDEX III
©2018 鎌池和馬 / 冬川基 / KADOKAWA / PROJECT-RAILGUNT



2025年3月期 通期業績計画

(単位:百万円)

		2025年3月期 (中間期実績)		2025年3月期 (通期計画)		進捗率
		金額	構成比	金額	構成比	
販売台数	パチンコ	53,490台	84.2%	72,000台	80.0%	74.3%
	パチスロ	10,048台	15.8%	18,000台	20.0%	55.8%
	合計	63,538台	100.0%	90,000台	100.0%	70.6%
売上高		25,114	100.0%	37,000	100.0%	67.9%
営業利益		5,725	22.8%	5,000	13.5%	114.5%
経常利益		5,833	23.2%	5,000	13.5%	116.7%
当期純利益		3,809	15.2%	3,700	10.0%	102.9%
1株当たり当期純利益		182.30円		177.04円		
1株当たり配当金		25円 (30円)		55円		
配当性向(連結)		— %		31.1%		

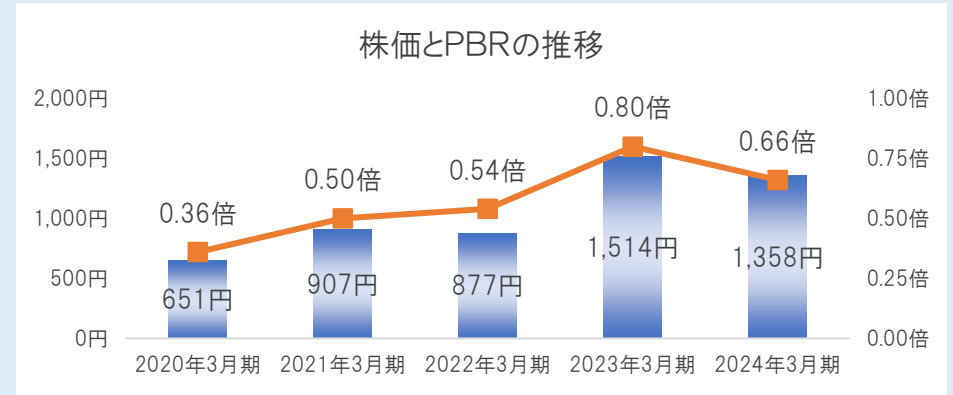
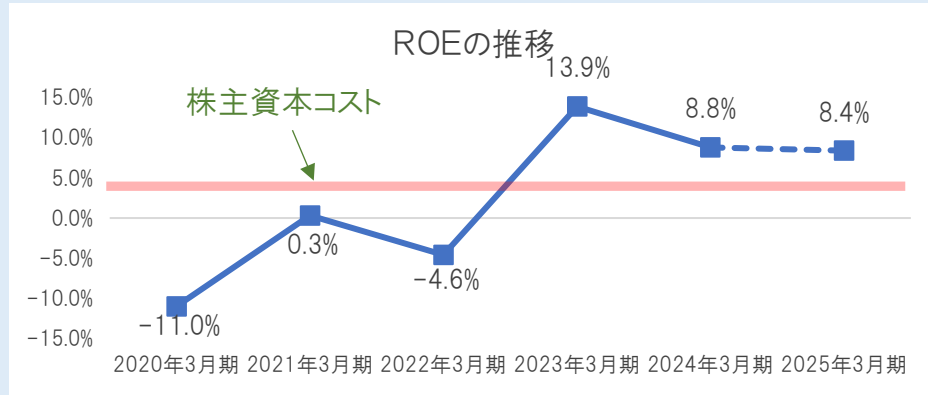
通期計画

- 第2四半期の実績は概ね計画通り
- 当社の主力タイトル「とある」シリーズ第3弾となる
(アクセラレータ)
 パチスロ遊技機「スマスロ 一方通行 とある魔術
(インデックス)
 の禁書目録」を第3四半期に導入予定

※1株当たり配当金は中間配当25円と期末配当30円を予定しております。

5. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

ヒト味違う発想で、一步先の“オモシロ”さを目指して！



- 遊技機メーカーは開発先行型の業種に相当するため、継続した機種開発を行うには、手厚い内部留保とキャッシュが必要
⇒ ROEが低くなる傾向
- 2023年3月期から2025年3月期(当社試算)のROEは株主資本コストを上回る一方で、ヒット機種の有無が業績に大きな影響を及ぼすため、年度によっては株主資本コストを下回ることもある
- 株価は上昇傾向にあるが、PBRははまだ1.0倍未満
⇒ 市場からの評価が得られていないため、当社株式の売買機会を提供する流通株式比率の向上が必要

課題

- 株主資本コスト(約4%)を超える**資本収益性の維持**(安定した利益計上)
- 市場からの**評価向上**(株価対策)

取り組み・成果・今後の方針

【取り組み】

※当社2024年3月期 第2四半期決算説明資料より

①安定的に利益を計上できる体制づくり

(株主資本コストを超えるROEを確保するために必要な利益)

⇒ 経常利益を重要な指標と位置づけ、**経常利益30億円**以上を継続

②配当方針の変更(2024年3月期より)

⇒ **安定配当**(50円)
+業績連動(配当性向30%以上)に変更

③IR活動の強化による対話促進

【成果】

①安定的な利益を計上

2024年3月期 経常利益49億円
2025年3月期 経常利益50億円に向け
進捗中

②配当方針の変更

2024年3月期 年間配当55円に増配
2025年3月期 年間配当55円予定

③IR活動の強化による対話促進

機関投資家との1on1ミーティング強化
(2023年3月期 累計89名
⇒ 2024年3月期 累計106名)

【今後の方針】

①安定的に経常利益30億円以上の計上の継続

②配当方針の継続

③IR活動の強化による対話促進の継続

④流通株式比率の向上

より幅広い投資家に対して当社株式の売買機会を提供する



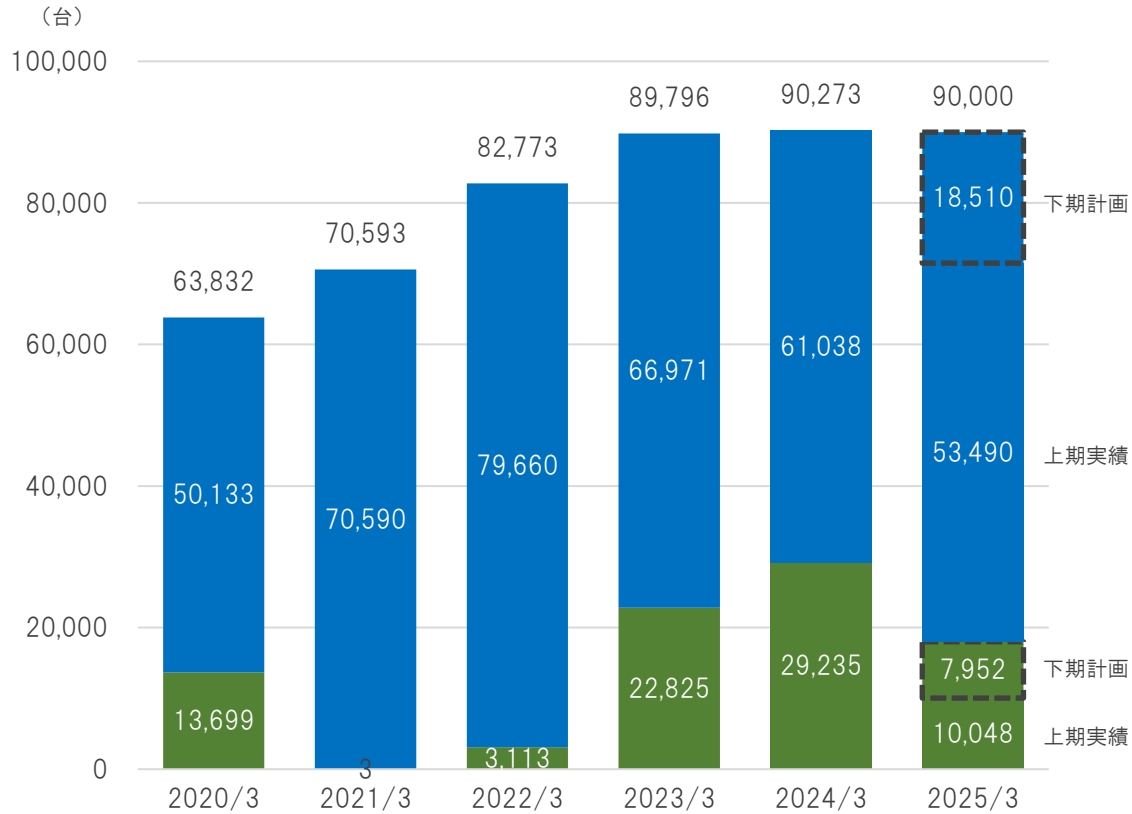
参考資料

ヒト味違う発想で、一步先の“オモシロ”さを目指して！

業績推移① 売上高・販売台数等

販売台数の推移

■パチスロ遊技機
■パチンコ遊技機

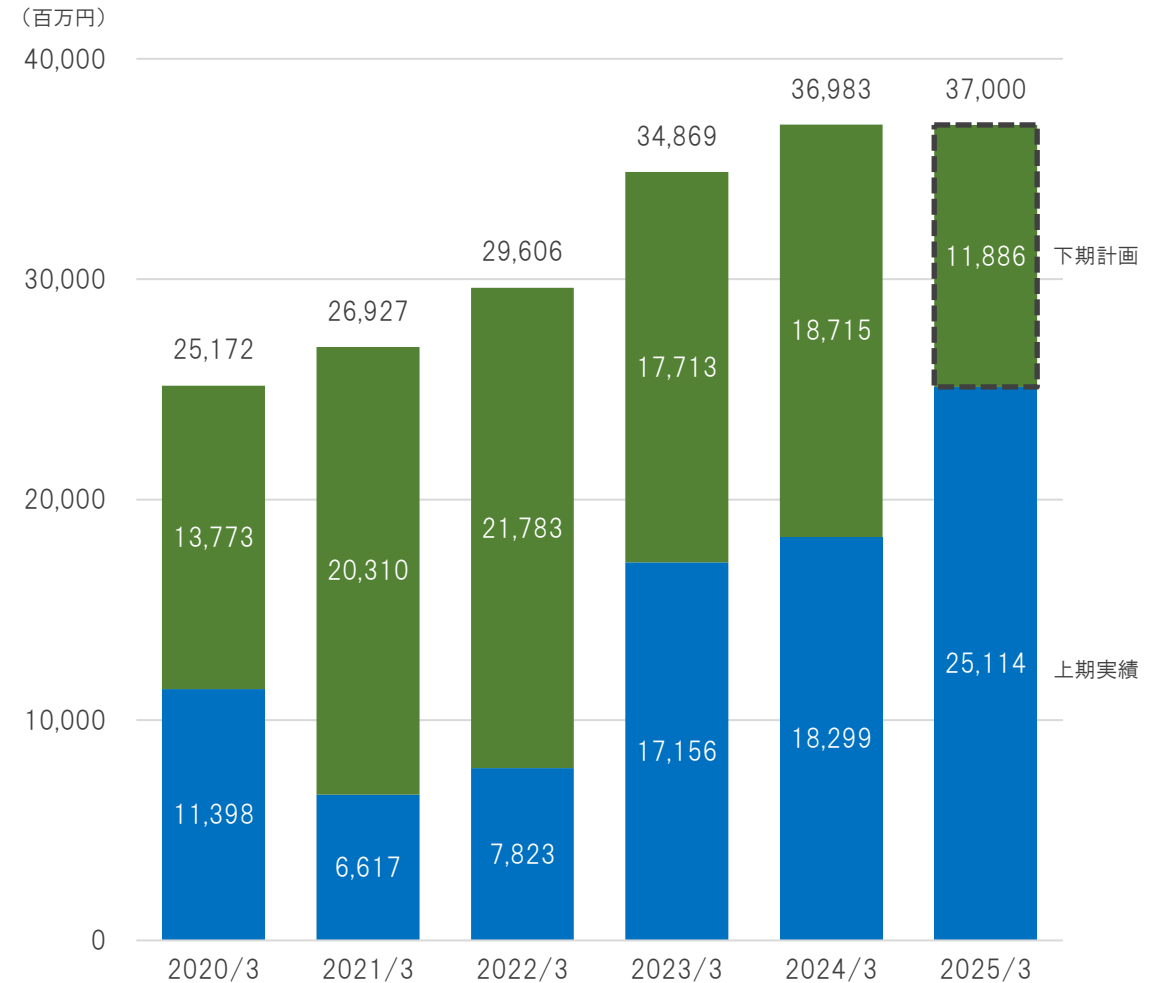


	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3
パチンコ	4	6	6	4	8	—
パチスロ	4	0	1	4	4	—
合計	8	6	7	8	12	—

投入機種数は新規タイトル数

売上高の推移

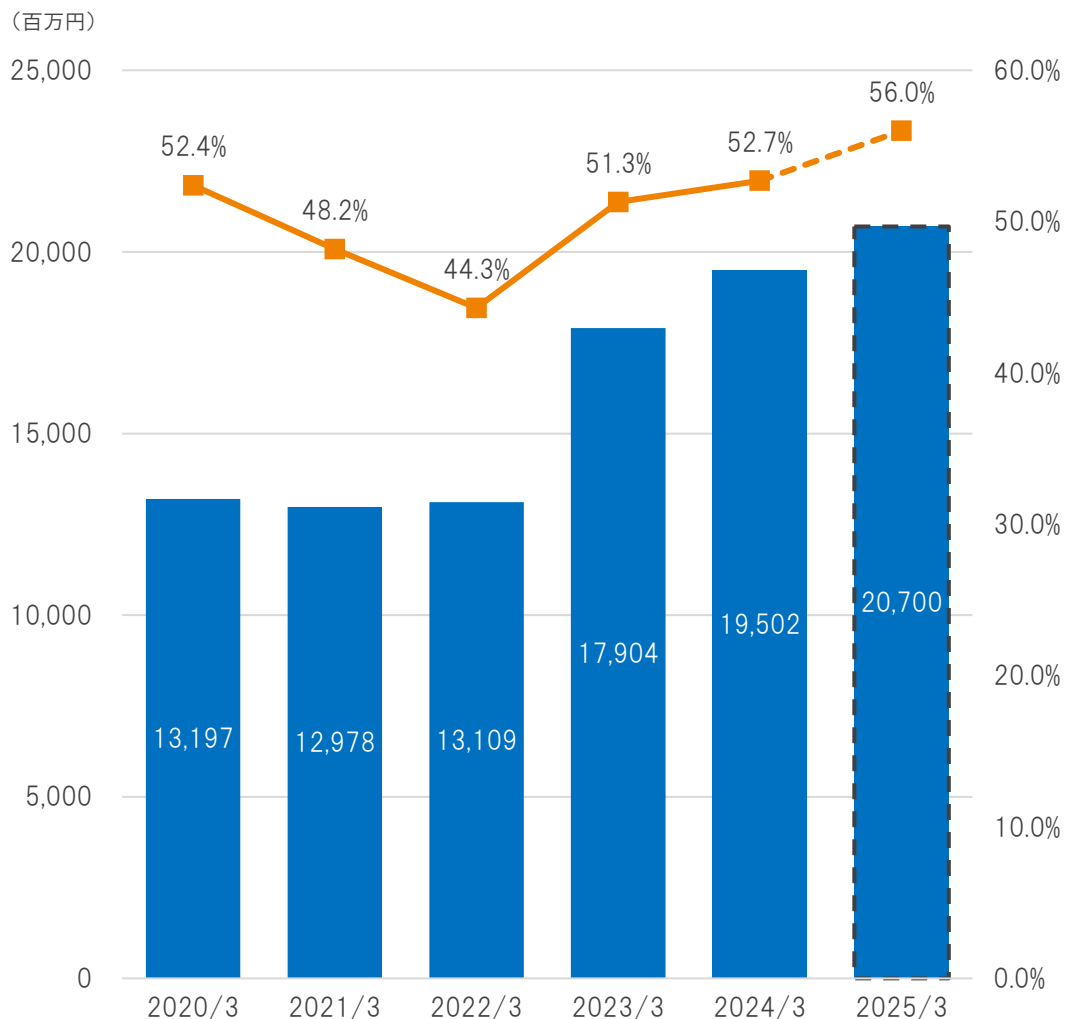
■上期
■下期



業績推移② 売上総利益・販管費

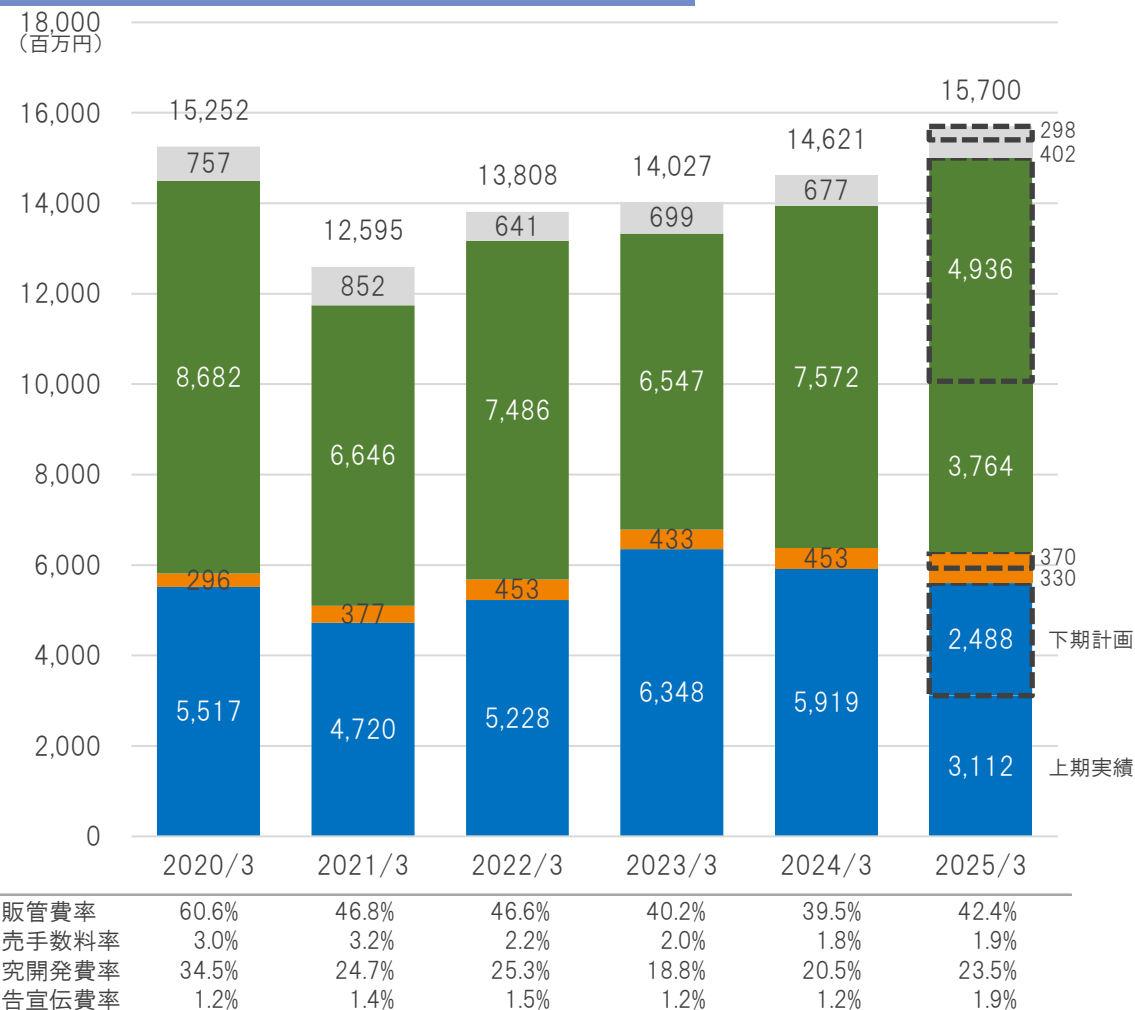
売上総利益(率)の推移

■売上総利益
■売上総利益率



販管費(率)・主要経費の推移

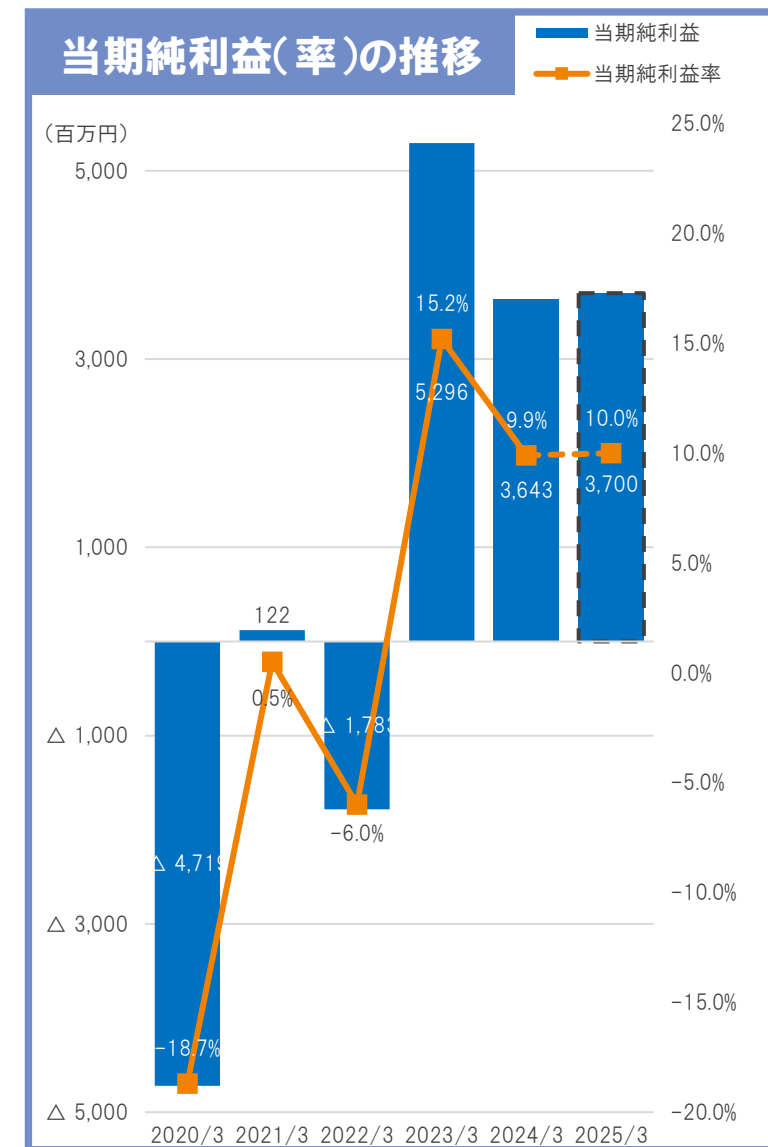
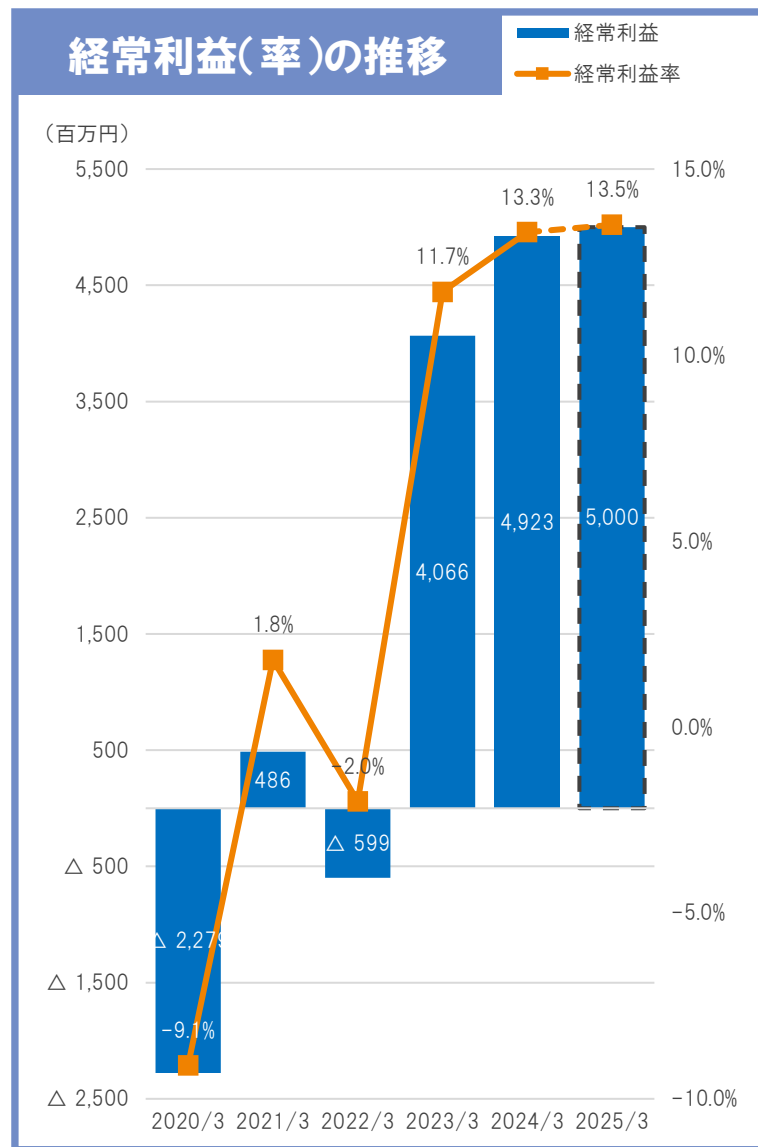
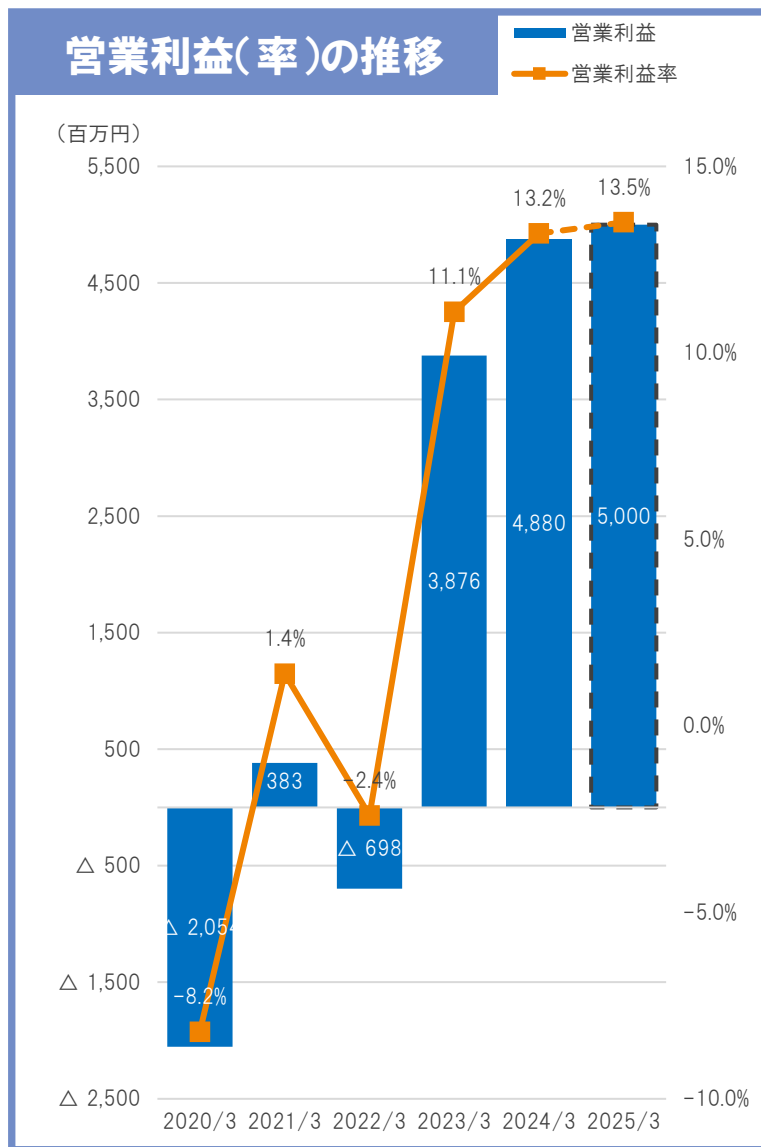
■売上総利益
■売上総利益率
■その他販管費
■広告宣伝費
■研究開発費
■販売手数料



	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3
販管費率	60.6%	46.8%	46.6%	40.2%	39.5%	42.4%
販売手数料率	3.0%	3.2%	2.2%	2.0%	1.8%	1.9%
研究開発費率	34.5%	24.7%	25.3%	18.8%	20.5%	23.5%
広告宣伝費率	1.2%	1.4%	1.5%	1.2%	1.2%	1.9%

※各比率は売上高に対する比率

業績推移③ 営業利益・経常利益・当期純利益



会社名	株式会社 藤商事
設立	1966年10月
代表者名	代表取締役社長 今山 武成
資本金	32億81百万円(2024年9月30日現在)
売上高	369億円(2024年3月期)
従業員数	451名(2024年9月30日現在)
事業内容	■パチンコ遊技機、パチスロ遊技機の 開発・製造・販売



コーポレートスローガン

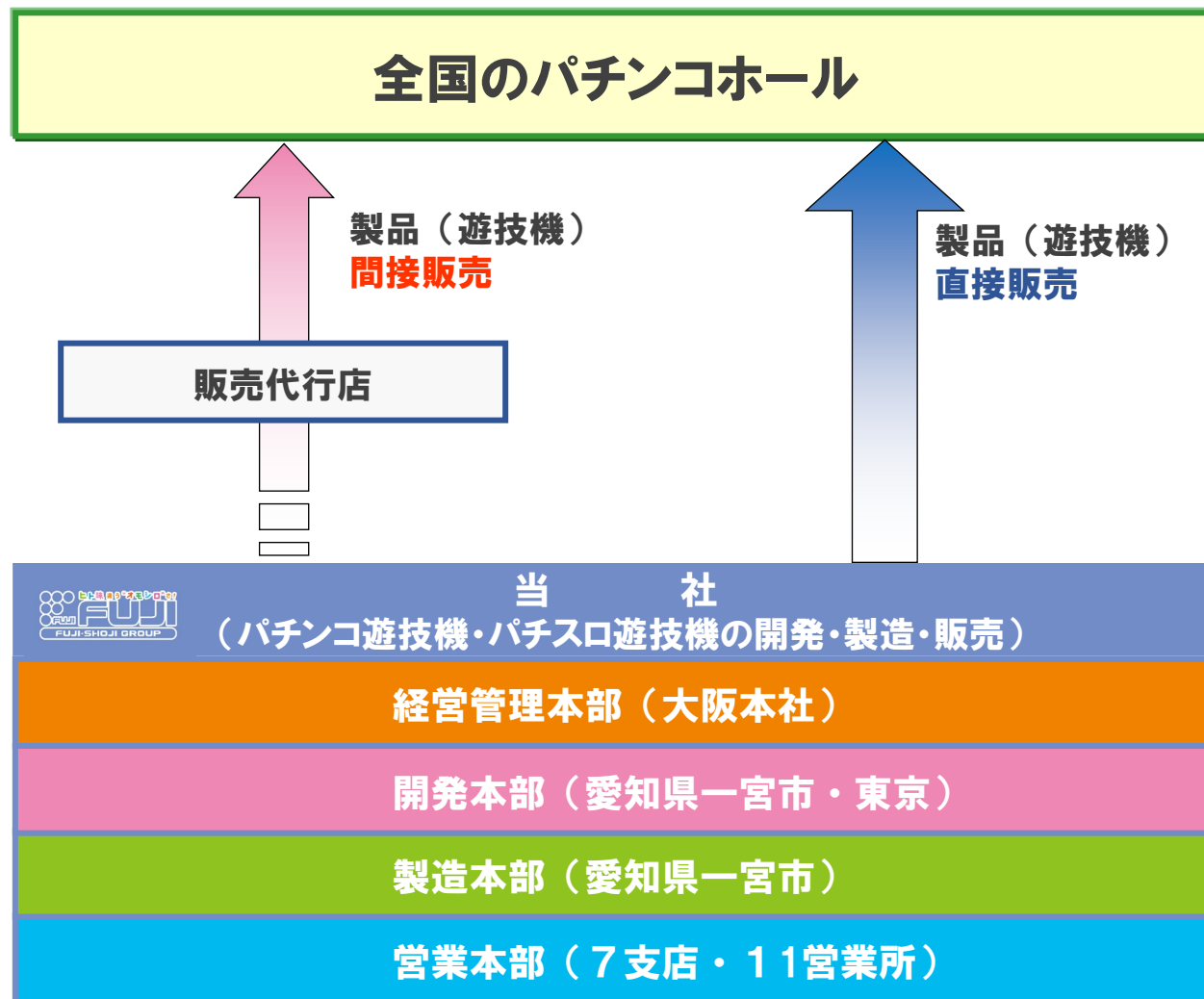
<ヒト味違う発想で一步先の“オモシロさ”を目指して！>

- 「ヒト味」は「人間味」を表しており、パチンコ・パチスロに情熱を持ち続け、可能性のある限り挑戦するモノづくりに取り組む姿勢を表しております。
- このコーポレートスローガンを「ヒト味違う“オモシロ”さ！」と短縮し、企業ロゴに表示しております。

主な会社沿革

- 1966年10月 じゃん球遊技機の開発、製造および貸付を目的とし、株式会社藤商事を設立
- 1973年10月 アレンジボール遊技機の製造および販売を開始
- 1989年11月 パチンコ遊技機事業に参入
パチンコ遊技機の製造および販売を開始
- 2003年9月 パチスロ遊技機事業に参入
パチスロ遊技機の製造および販売を開始
- 2007年2月 ジャスダック証券取引所に上場
- 2010年4月 ジャスダック証券取引所と大阪証券取引所の合併にともない、
大阪証券取引所JASDAQ市場に上場
- 2013年3月 サン電子株式会社と資本・業務提携契約を締結
- 2013年7月 東京証券取引所と大阪証券取引所の合併にともない、
東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場
- 2014年3月 東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)にて貸借銘柄に選定
- 2022年4月 東京証券取引所の市場区分見直しにより、東京証券取引所スタンダード市場に上場
- 2022年6月 監査等委員会設置会社へ移行

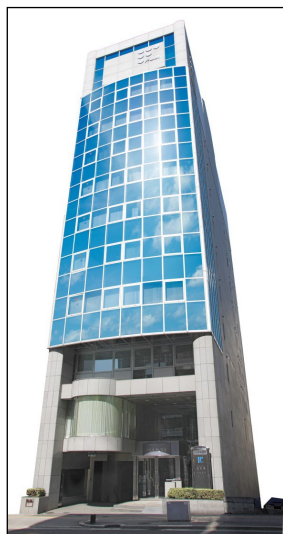




連結子会社：株式会社J F J・株式会社オレンジ・株式会社ミラクル
持分法非適用関連会社：株式会社サンタエンタテイメント・株式会社アイル

地域展開の状況

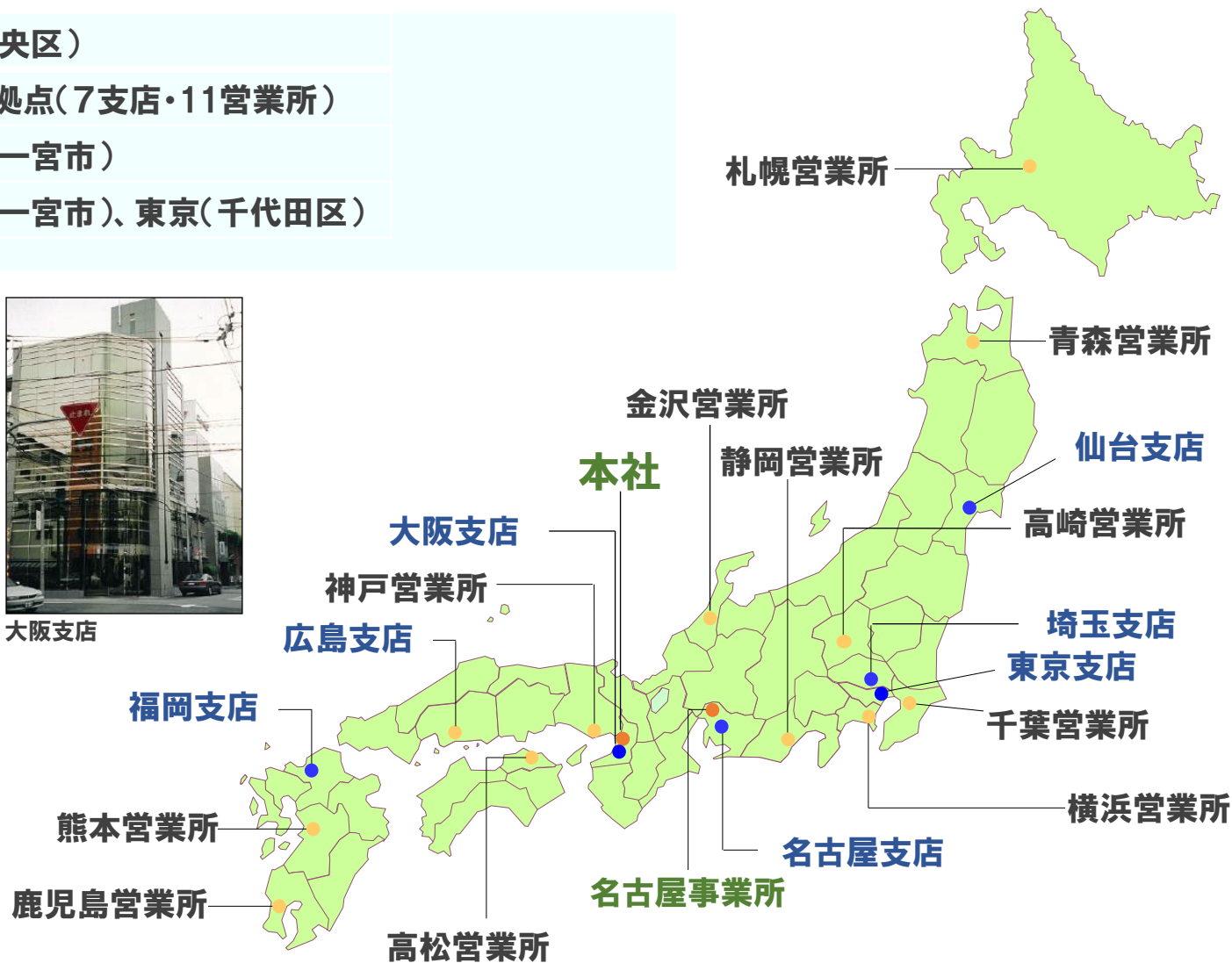
本 社 : 大阪(中央区)
営業拠点 : 全国18拠点(7支店・11営業所)
製造拠点 : 愛知県(一宮市)
開発拠点 : 愛知県(一宮市)、東京(千代田区)



本社



大阪支店



東京支店



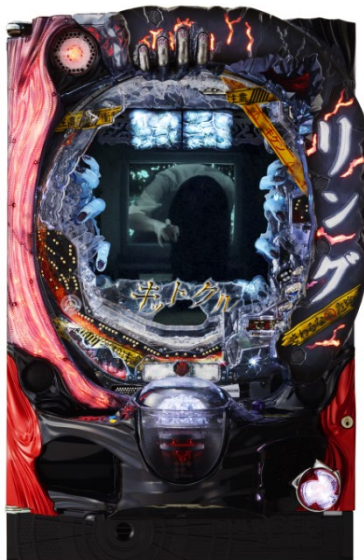
名古屋事業所 (本館)



名古屋事業所 (西館)

パチンコ遊技機 サイドユニットシステム

サイドユニット(専用または汎用)



盤面 (パネル)

©1999鈴木光司 発行:株式会社KADOKAWA 角川書店
 ©1998「リング」「らせん」製作委員会
 ©1999「リング2」製作委員会

パネル販売では盤面のほか、サイドユニット(機種専用または汎用)が付属します

本体販売

パネル販売

外枠(本体)は一度購入すれば以後の機種では、盤面(パネル)とサイドユニットの入替を行うことにより、継続して使用可能。
 本体枠をモデルチェンジした最初の機種は、すべて枠付きの本体販売となる。

パチスロ遊技機 分離筐体システム



©地獄少女プロジェクト/宵伽製作委員会



回胴部ユニット



下パネル

機種変更時に交換

筐体販売

ユニット販売

機種変更の際に「回胴部ユニット」と「下パネル」を交換可能なシステムを採用し、パチンコホール様の利便性を向上。

主な発売機種

発売年	区分	機種名
1966年	じゃん球	じゃん球
1987年	アレンジボール	「シャトル21」
1989年	パチンコ	「スリングショット」 ※当社初のパチンコ遊技機
1992年	アレンジボール	「アレジン」、「エキサイト」
	アレンジボール	「CRプレジデント5」 ※当社最後のアレンジボール遊技機
2000年	パチンコ	「CRゲゲゲの鬼太郎」 ※当社初の著作権パチンコ
2002年	パチンコ	「CRダイナミックショット」 ※業界初の「チャンスボタン」搭載機
2003年	パチスロ	「ツインバーニング」 ※当社初のパチスロ遊技機
2007年	パチンコ	「CR宇宙戦艦ヤマト」 ※当社の歴代最多販売台数を記録(CR機以降)
	パチンコ	「CRリング」
2011年	パチンコ	「CR地獄少女」
2012年	パチンコ	「CR RAVE エンドレスバトル」
2014年	パチンコ	「CR緋弾のARIA」
2016年	パチンコ	「CR遠山の金さん 二人の遠山桜」
2018年	パチンコ	「CR FAIRY TAIL」
2020年	パチンコ	「Pとある魔術の禁書目録(インデックス)」
2022年	パチンコ	「Pとある科学の超電磁砲(レールガン)」
2023年	パチスロ	「Lゴブリンスレイヤー」 ※当社初のスマートパチスロ
	パチンコ	「スマパチ RAVE 覚聖ループ」 ※当社初のスマートパチンコ



©藤商事

アレジン
(1992年)



©1998「リング」「らせん」製作委員会

CRリング
(2007年)



Pとある魔術の禁書目録(インデックス)
(2020年)

©鎌池和馬/アスキー・メディアワークス/PROJECT-INDEX
 ©鎌池和馬/アスキー・メディアワークス/PROJECT-INDEX II
 ©鎌池和馬/アスキー・メディアワークス/PROJECT-INDEX MOVIE
 ©2017 鎌池和馬/KADOKAWA アスキー・メディアワークス/PROJECT-INDEX III



Pとある科学の超電磁砲(レールガン)
(2022年)

©鎌池和馬/冬川基/アスキー・メディアワークス/PROJECT-RAILGUN
 ©鎌池和馬/冬川基/アスキー・メディアワークス/PROJECT-RAILGUN S
 ©2018 鎌池和馬/冬川基/KADOKAWA/PROJECT-RAILGUN T

パチンコ・パチスロについて①

パチンコ遊技機には大当たり確率(※)があり大別すると、以下のように分けられます。

(※)大当たり確率とは、遊技を始めてから、初めて大当たりするまでの確率を指します。

(注)大当たり確率の区分は当社基準によります。

パチンコ遊技機

ミドル
(1/300~319)



©鎌池和馬/アスキー・メディアワークス/PROJECT-INDEX
©鎌池和馬/アスキー・メディアワークス/PROJECT-INDEX II
©鎌池和馬/アスキー・メディアワークス/PROJECT-INDEX MOVIE
© 2017 鎌池和馬/KADOKAWA アスキー・メディアワークス/PROJECT-INDEX III

最も大当たりしにくいタイプだが、大当たりした時の出玉が多い傾向にある。

代表機種：
Pとある魔術の禁書目録2

ライトミドル
(1/100~299)



©赤松中学 2008-2011
©2011 赤松中学・株式会社KADOKAWA メディアファクトリー刊/東京武偵高校

比較的大当たりしやすいタイプ。
継続率が高い機種であれば、ミドルタイプ級の出玉獲得も期待できる。

代表機種：
P緋弾のアリア ~緋弾覚醒編~

甘デジ
(1/99以上)



©地獄少女プロジェクト/宵伽製作委員会

出玉は少ないが、大当たりしやすいタイプ。
ゆっくり遊技したい方におすすめ。

代表機種：
P地獄少女 きくりのお祭りLIVE

パチスロ遊技機は、大別すると以下のタイプに分けることができ、「A+RT」のようにタイプが複合することもあります。大当たり確率は、設定ごとに異なります。

パチスロ遊技機

Aタイプ (ノーマルタイプ)

ボーナスに当選することでメダルを増やすタイプ。
分かりやすいゲーム性であることが多い傾向にある。

RT (リプレイタイム)

「リプレイ」(*)の確率が上がることで、メダルを減らさずに遊ぶことができるタイプ。大当たりすることでメダルが増える「Aタイプ」と複合したタイプになることがある。

代表機種: **パチスロ 貞子vs伽椰子**

ART (アシストリプレイタイム)



©真島ヒロ/講談社 ©真島ヒロ・講談社/フェアリーテイル製作委員会・テレビ東京

大当たりしていない通常時に比べると「リプレイ」(*)の確率が上がり、映像・音声などによって押す順番を知らせてくれることでメダルが増えやすくなるタイプ。

代表機種: **パチスロ FAIRY TAIL**

AT (アシストタイム)



©蝸牛くも・SBクリエイティブ/ゴブリンスレイヤー—GC製作委員会

映像・音声などによって押す順番を知らせてくれることでメダルが増えやすくなるタイプ。ARTに比べると、大当たり時以外でも「リプレイ」(*)の確率が高い傾向にある。

代表機種: **Lゴブリンスレイヤー**

(※)「リプレイ」とは、メダルを使わずにもう一回遊技できる役のこと。

■お問い合わせ先

株式会社 藤商事 経営管理本部



<https://www.fujimarukun.co.jp/contact/>



fuji-ir@fujimarukun.co.jp

- 本資料は、当社の事業内容をご説明するために、現時点で入手できる情報に基づき作成したものです。本資料を作成するにあたっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料の情報によって生じた障害・問題等に関しては、当社は一切責任を負うものではありませんので、ご了承ください。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、遊技機の型式試験の適合状況をはじめ、様々な要因により大きく異なる可能性があります。投資を行う際には、投資家ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。